

定期検査報告書の作成について

(防火設備編)

「令和7年7月1日」

(一財)なら建築住宅センター

はじめに

本冊子は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「防火設備定期検査業務基準」(2020年改定版)を基に作成したものです。定期検査報告書の作成に役立てていただければ幸いです。

なお、本冊子は、当センターのホームページよりダウンロードすることもできます。また、「特定建築物編」、「建築設備編」につきましては、別冊を参考してください。

目 次

	頁
1 定期検査報告の記載について	・・・ 1
2 検査結果表（防火扉）の記載について 関係写真	・・・ 4
3 検査結果表（防火シャッター）の記載について 関係写真	・・・ 6
4 検査結果表（耐火クロススクリーン）の記載について 関係写真	・・・ 8
5 検査結果表（ドレンチャー等）の記載について 関係写真	・・・ 10
6 検査結果図の記載について	・・・ 12
7 定期検査報告書の綴り方について	・・・ 13

関係告示

防火設備の定期検査報告における検査及び定期点検における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表については、平成 28 年 5 月 2 日 国土交通省告示第 723 号により定められています。

本冊子は、上記告示の「**最終改正 令和 6 年国土交通省告示第 974 号（施行日 令和 7 年 7 月 1 日）**」に基づいて作成しています。

定期検査報告書の様式については、当センターのホームページよりダウンロードできます。

[*当センターのホームページより最新版をご利用ください。](#)

1 定期検査報告書の記載について
第三十六号の八様式（第六条関係）（A4）

台帳
番号

奈	B	一	0000
---	---	---	------

一般財団法人 なら建築住宅センター

定期検査報告書
(防火設備)

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は
事実と相違ありません。
特定行政庁 ○○市 市長 様

台帳番号は、案内文書に記載された番号を記入してください

提出先の特定行政庁に合わせて記入してください。(奈良市長、橿原市長、生駒市長のいずれかになります。)

提出日を記入してください。(検査終了日から60日以内にセンターあてに報告してください)

令和 ○年 ○月 ○日

報告者氏名
△△△△病院 院長
設備 次郎

検査者氏名
飛鳥 三郎

建築物の管理者を記入してください。

また、所有者と管理者が異なる場合は「管理者の氏名」を報告者氏名の欄に記入して下さい。
(令和3年1月1日より報告者及び検査者の押印は不要になりました。)

【1. 所有者】
【イ. 氏名のフリガナ】 イロウホウジン
【ロ. 氏名】 医療法人△△△△
【ハ. 郵便番号】 ○○○-○○○○
【ニ. 住所】 ○○市○○町1-1
【ホ. 電話番号】 ○○○○-○○-○○○○

【2. 管理者】
【イ. 氏名のフリガナ】 ビョウイン インチョウ
【ロ. 氏名】 △△△△病院 院長
【ハ. 郵便番号】 ○○○-○○○○
【ニ. 住所】 ○○市○○町2-2
【ホ. 電話番号】 ○○○○-○○-○○○○

【3. 報告対象建築物】
【イ. 所在地】 △△市△△町3-3
【ロ. 名称のフリガナ】 ビョウイン
【ハ. 名称】 △△△△病院
【ニ. 用途】 病院

【4. 検査による指摘の概要】

要是正の指摘あり (既存不適合) 指摘なし

フリガナも記入してください

(第二面)の6欄の「イ」において「要是正の指摘あり」に「レ」点マークを入れた場合、この欄にも「レ」点マークを入れてください。

既存不適合に「レ」点マークが入るのは、(第二面)の6欄の「イ」で要是正の指摘ありがすべて既存不適合の場合のみで、「既存不適合」とそれ以外の要是正の指摘が混在するとき、内「レ」点マークを入れなくてください。

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日	様式C9_250701	
第 号	様式F9_250701	
係員氏名		

[注]第二面及び第三面は、対象となる建物ごとに作成してください

敷地内に報告対象の棟が複数ある場合は、この欄に棟名（棟番号）を記入してください。また、報告書（第二面）～（第三面）、検査結果表、関係写真等は各棟ごとに作成してください。建築面積・延べ面積を記入してください。（特定建築物の定期調査報告書の記載面積と整合しているか確認してください）報告対象の床面積を記入してください。

（第二面）

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 3 階 地下 0 階

【ロ. 建築面積】 651.35 m²

【ハ. 延べ面積】 1583.60 m² (報告対象床面積 1583.60 m²)

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和 5 年 10 月 20 日 第0001号

【ロ. 確認済証交付者】 平成 建築主事等

【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和 6 年 10 月 15 日 第0001号

【ニ. 検査済証交付者】 平成 建築主事等

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 0 年 9 月 10 日 実施

【ロ. 前回の検査】 令和 0 年 10 月 11 日 報告

【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 有 無 未実施 今回初検査 対象外

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (1 級) 建築士 登録第 3 2 6 5 2 1 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 飛鳥 三郎 氏 事務所 (奈良県) 知事登録第 0 0 0 0 (い) 1 0 号

【ハ. 氏名】 飛鳥 三郎

【ニ. 勤務先】 ASUKA 建築事務所 (奈良県) 知事登録第 0 0 0 0 (い) 1 0 号

【ホ. 郵便番号】 0 0 0 - 0 0 0 0

【ヘ. 所在地】 0 0 市 0 0 町 1 0 0 番地 - 1 〇〇ビル2階

【ト. 電話番号】 0 7 4 2 - 0 0 - 0 0 0 0

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 登録第 () 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 防火設備検査員

【ハ. 氏名】 春日 五郎 氏 事務所 () 知事登録第 () 号

【ニ. 勤務先】 株式会社 〇〇〇〇設備

【ホ. 郵便番号】 〇〇〇 - 〇〇〇〇

【ヘ. 所在地】 〇〇市 〇〇町 2 0 0 番地 - 2

【ト. 電話番号】 0 7 5 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

避難安全検証法 () 階 全館避難安全検証法

区画避難安全検証法 () 階 その他 ()

【ロ. 防火設備】

防火扉 (3 枚) 防火シャッター (1 枚)

耐火クロススクリーン (枚) ドレンチャーター等 (台)

その他 (台)

【6. 防火設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 防火扉 (1) 堅穴区画

【ハ. 改善予定の有無】 有 (令和 〇 年 1 2 月に改善予定) 無

【7. 防火設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 有 無

【ロ. 不具合記録】 有 無

【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 (令和 〇 年 5 月に改善予定) 予定なし

【8. 備考】

直近の確認済証について記入してください。（特定建築物の定期調査報告書の記載内容と整合しているか確認してください。）

直近の確認済証に対する検査済証について記入してください。（特定建築物の定期調査報告書の記載内容と整合しているか確認してください。）

今回の検査の終了日を記入してください。

前回の検査報告日（報告書提出日）を記入してください。

今回初検査とは、検査済証交付後に免除の年度が過ぎ、初めての検査対象年度に該当する場合、又は法改正等により初めて検査対象年度に該当する場合です。

未実施とは既に報告年度に達しているが以前に報告をしていない場合です。

対象外とは、報告の対象となっていない場合です。

前回の定期検査の結果を記録した書類の保存の有無について記入してください。

（一財）なら建築住宅センターへの防火設備検査資格者登録番号を記入してください。

代表となる検査者について記入してください。

検査者が1人の場合は記入する必要はありません。

（その他の検査者（有資格者です）が2人以上の場合は別紙に記入し添付してください）

検査対象の防火設備について「レ」点マークをいれ個々の扉又はカーテン部ごとにその枚数の合計を記入し、ドレンチャーター等については、散水ヘッドの合計の個数を記入してください。

※防火扉で両開き扉・親子扉の場合は、1か所で1枚とカウントしてください。

イ欄は、別記第一号様式～第四号様式の検査結果表において、是正が必要と認められるときは、「口要是正の指摘あり」に「レ」点マークをいれてください。又、「口既存不適格」に「レ」マークが入るのは、口欄の指摘事項が全て既存不適格の場合で、既存不適格とそれ以外の要是正が混在する場合は、口内に「レ」マークを入れな

いでください。

口欄は、防火設備の種類十番号十区画の種類（堅穴区画・面積区画・異種用途区画・その他の区画）を記入してください。「既存不適格」の項目については、記入が不要です。

指摘をうけた項目について改善予定があるときは、口有に「レ」点マークを入れ、予定年月を記入してください。

不具合が有れば、口有に「レ」点マークを入れ、その記録及び改善の状況欄にも「レ」点マークを入れてください。不具合が無ければ、口無に「レ」点マークを入れてください。

[注]不具合が有れば（第三面）の「防火設備に係る不具合の状況」の添付が必要です。

※不具合について、前回の検査時以降に把握した防火設備不動作等のうち第三面の6欄において指摘されるものの以外のもについて、把握できる範囲において記入してください。

※不具合とは、防火設備不動作等機器の故障、異常作動、損傷、腐食その他の劣化に起因するものです。

防火設備に係る不具合の状況

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
令和〇年4月	防火扉の閉鎖不良	経年劣化による調整不良	令和〇年5月	つり込み調整

[注]前回の検査以降にどの設備においても不具合を把握していません。第三面は添付する必要はありません。

前回の検査時以降に把握した防火設備に係る不具合のうち、今回の検査報告書の(第二面)の6欄において、指摘されるもの以外のものについて把握できる範囲において記入してください。

既に改善を実施している場合、または行う予定がある場合には、具体的措置を記入してください。

また、改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

・既に改善を実施している場合は、実施年月日を記入してください。

・改善予定がある場合は、その年月を記入してください。

・改善を行う予定がない場合は、「-」を記入してください。

不具合が生じた原因として、考えられるものを記入してください。

不具合の箇所を特定した上で、不具合の具体的な内容を記入してください。

不具合を把握した年月を記入してください。

※不具合とは、前回の検査時以降に把握した防火設備に係る不具合のうち第二面の6欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。

検査結果表（防火扉）

結果表の検査項目で赤字は令和7年7月施行

当該検査に 関与した検 査者	氏名		検査者番号	
	代表となる検査者	飛鳥 三郎		A
その他の検査者	春日 五郎		B	
検査項目	検査事項	対象外項目	検査結果 指摘なし 要是正 既存不適格	担当検査者番号
(1)	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況		○	A
(2)	扉の取付けの状況		○	A
(3)	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	A
(4)	防火扉 常時閉鎖した状態にある防火扉（以下常閉防火扉」という。）	固定の状況	○	A
(5)	人の通行の用に供する部分に設ける防火扉（常閉防火扉）にあつては、各階の主要なものに限る）※	作動の状況	○	A
(6)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○	A
(7)	温度ヒューズ装置	感知の状況	○	B
(8)	連動制御器	設置の状況	○	B
(9)	連動機構	スイッチ類及び表示灯の状況	○	B
(10)		結線接続の状況	○	B
(11)		接地の状況	○	B
(12)		予備電源への切り替えの状況	○	A
(13)		劣化及び損傷の状況	○	A
(14)		容量の状況	○	A
(15)		設置の状況	○	A
(16)		再ロック防止機構の作動の状況	○	A
(17)	総合的な作動の状況	防火扉（常閉防火扉を除く。）の閉鎖の状況	○	B
(18)		防火区画（令第112条第11項から第13項までの規定による区画に限る）の形成の状況	○	B
5	上記以外の検査項目等			
特記事項				
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
(1)	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	閉鎖の障害になる物品がある	撤去する	令和〇年〇月
()		「-----」	「-----」	令和〇年〇月
()				
()				

[注]この検査結果表は、対象となる建物ごとに作成してください。

検査者が1人の場合は、記入は不要です。

検査した結果、要是正の指摘がある場合には、「要是正」の欄に○印を記入し、特記事項の欄にその内容等を記入してください。

* 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合は除く）については、要是正とされた部分の写真を、別添の様式に従い添付してください。

検査した結果、指摘が無ければ、「指摘なし」の欄に○印を記入してください。

特定行政庁が定める検査項目の追加がないので、記入不要です。

検査の結果、要是正の指摘があった場合は、全ての検査項目について記入してください。

検査項目番号を記入してください。

検査項目を記入してください。

具体的な内容、状態を記入してください。

改善策の内容等を記入してください

改善予定年月を記入してください。

その他の報告として特記すべき事項がある場合は記入してください。
(その場合、番号、検査項目の欄は記入しないでください。)

別添2様式 (A4)

関係写真 (防火扉)

[注] 要是正等がない場合は、この様式は添付する必要はありません。

部位	番号	検査項目	検査結果
	(1)	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 特記事項 閉鎖の障害になる物品がある。 写真を添付してください

「レ」点マークを入れて下さい。

指摘の具体的内容を記入してください。

検査項目を記入して下さい。

検査項目番号を記入して下さい。

部位	番号	検査項目	検査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 特記事項

(注意)

- この書類は、検査の結果「要是正」とされた項目のうち、「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「部位」欄の「番号」、「検査項目」は、それぞれ別記様式の番号、検査項目に対応したものを記入してください。
- 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

3 検査結果表（防火シャッター）の記載について

別記二号（A4）

検査結果表（防火シャッター）

一般財団法人 なら建築住宅センター

結果表の検査項目で赤字は令和7年7月施行

当該検査に関与した検査者	氏名	検査者番号
代表となる検査者	飛鳥 三郎	A
その他の検査者	春日 五郎	B

[注]この検査結果表は、対象となる建物ごとに作成してください。

検査者が1人の場合は、記入は不要です。

番号	検査項目	検査事項	対象外項目	検査結果		担当検査者番号
				指摘なし	要是正	
(1)	設置場所の周辺の状態	閉鎖の障害となる物品の 放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(2)	防火シャッター	駆動装置	軸受部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(3)		スプロケットの設置の状況※	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A	
(4)		軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A	
(5)		ローラーチェーン又はワイヤロープの劣化及び損傷の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A	
(6)		スラット及び座板の劣化等の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A	
(7)	カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(8)	ケース	劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(9)	まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(10)	連動機構	危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設置する防火シャッターに係るものに限る。）	危害防止装置用連動中継器の配線の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(11)		危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B	
(12)		危害防止装置用予備電源の容量の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A	
(13)		座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A	
(14)		作動の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(15)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(16)		感知器	感知の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(18)	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(19)		結線接続の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(20)		接地の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(21)	連動機構用予備電源	予備電源への切り替えの状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(22)		劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(23)		容量の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(24)	自動閉鎖装置	設置の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(25)		設置の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(27)		防火区画（令第112条第11項から第13項までの規定による区画に限る）の形成の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
5	上記以外の検査項目等					
特記事項						
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月		
(1)	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	閉鎖の障害となる物品がある	撤去する	令和〇年〇月		
()				令和〇年〇月		

検査した結果、要是正の指摘がある場合には、「要是正」の欄に○印を記入し、特記事項の欄にその内容を記入してください。

*要是正とされた検査項目等（既存不適合の場合は除く）については、要是正とされた部分の写真を、別添の様式に従い添付してください。

検査した結果、指摘が無ければ、「指摘なし」の欄に○印を記入してください。

特定行政庁が定める検査項目の追加がないので、記入不要です。

検査の結果、要是正の指摘があった場合は、全ての検査項目について記入してください。

検査項目番号を記入してください。

検査項目を記入してください。

具体的な内容、状態を記入してください。

改善策の内容等を記入してください。

改善予定年月を記入してください。

その他の報告として特記すべき事項がある場合は記入してください。（その場合、番号、検査項目の欄は記入しないでください。）

別添2様式 (A4)

関係写真 (防火シャッター)

[注] 要是正等がない場合は、この様式は添付する必要はありません。

部位	番号	検査項目	検査結果
	(1)	閉鎖の障害となる物品の 放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 特記事項 閉鎖の障害になる物品がある。 写真を添付してください

検査結果に「レ」点マークを入れて下さい。

指摘の具体的内容等を記入してください。

検査項目を記入して下さい。

検査項目番号を記入して下さい。

部位	番号	検査項目	検査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 特記事項

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」とされた項目のうち、「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目」は、それぞれ別記様式の番号、検査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況を確認できるように撮影したものを添付してください。

4 検査結果表（耐火クロススクリーン）の記載について
別記第三号（A4） 検査結果表（耐火クロススクリーン）

一般財団法人 なら建築住宅センター

結果表の検査項目で赤字は令和7年7月施行

当該検査に 関与した検 査者	氏名	検査者番号
	代表となる検査者	A
	その他の検査者	B

番号	検査項目	検査事項	対象外項目	検査結果		担当検査者番号
				指摘なし	要是正	
(1)	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の 放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(2)	駆動装置	ローラーチェーンの劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(3)	カーテン部	耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(4)		吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(5)	ケース	劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(6)	耐火クロススクリーン	まぐさ及びガイドレール 劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(7)		危害防止装置 (人の通行の用に供する部分に設置する耐火クロススクリーンに係るものに限る。)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(8)		危害防止用連動中継器の配線の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(9)		危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(10)		危害防止装置用予備電源の容量の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(11)		座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(12)		作動の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(13)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(14)		配置位置		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(15)		感知の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(16)		スイッチ類及び表示灯の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(17)	連動機構	結線接続の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(18)		接地の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
(19)		予備電源への切り替えの状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(20)		劣化及び損傷の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(21)		容量の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(22)		設置の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B
(23)		設置の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
	総合的な作動の状況	耐火クロススクリーンの閉鎖の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
		防火区画（令第112条第11項から第13項までの規定による区画に限る）の形成の状況		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	A
5 上記以外の検査項目等						

特記事項	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
(1)	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	閉鎖の障害となる物品がある	撤去する	令和〇年〇月
()		「-----」	「-----」	令和〇年〇月

[注]この検査結果表は、対象となる建物ごとに作成してください。

検査者が1人の場合は、記入は不要です。

検査した結果、要是正の指摘がある場合には、「要是正」の欄に○印を記入し、特記事項の欄にその内容等を記入してください。

*要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合は除く）については、要是正とされた部分の写真を、別添の様式に従い添付してください。

検査した結果、指摘が無ければ、「指摘なし」の欄に○印を記入してください。

特定行政庁が定める検査項目の追加がないので、記入不要です。

検査の結果、要是正の指摘があった場合は、全ての検査項目について記入してください。

検査項目番号を記入してください。

検査項目を記入してください。

具体的な内容、状態を記入してください。

改善策の内容等を記入してください

改善予定年月を記入してください。

その他の報告として特記すべき事項がある場合は記入してください。（その場合、番号、検査項目の欄は記入しないでください。）

別添2様式 (A4)

関係写真 (耐火クロスクリーン)

[注] 要是正等がない場合は、この様式は添付する必要はありません。

部位	番号	検査項目	検査結果
	(1)	閉鎖の障害となる物品の 放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 特記事項 閉鎖の障害になる物品がある。 写真を添付してください

検査結果に「レ」点マークを入れて下さい。

指摘の具体的内容等を記入してください。

検査項目を記入して下さい。

検査項目番号を記入して下さい。

部位	番号	検査項目	検査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 特記事項

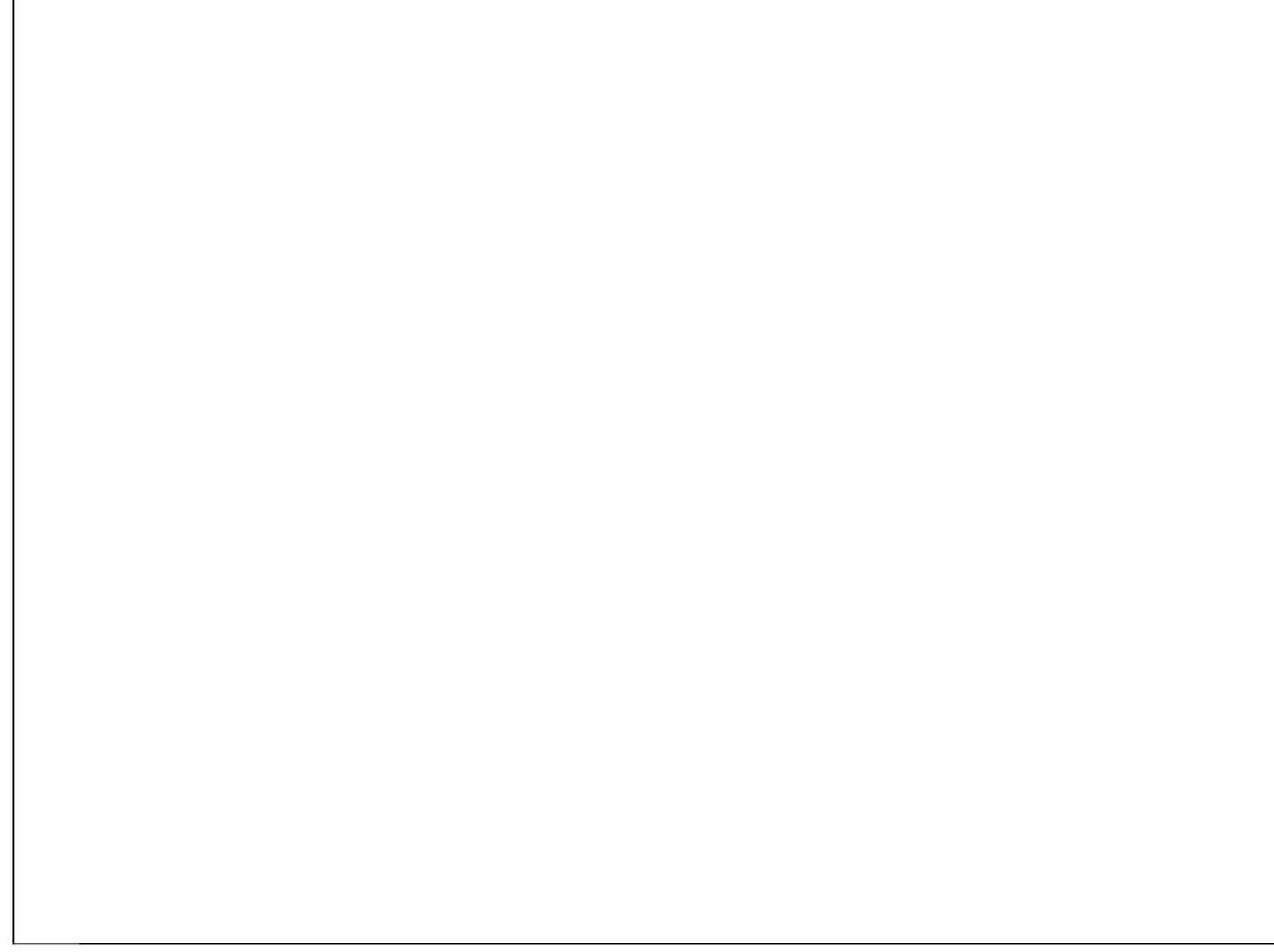
(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」とされた項目のうち、「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目」は、それぞれ別記様式の番号、検査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況を確認できるように撮影したものを添付してください。

6 検査結果図の記載について

別添1様式 (A3)

[注] この検査結果図は、対象となる建物ごとに作成して下さい。



検査結果図

別添1様式 (A3)

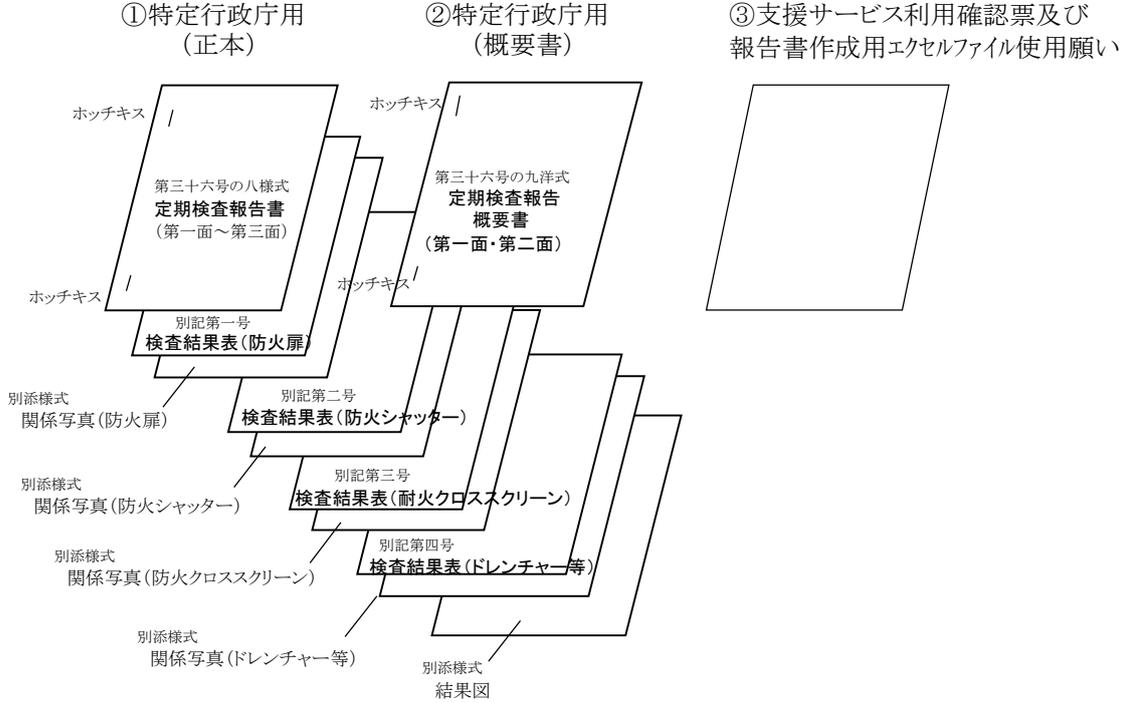
各階平面図に、各防火設備（防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーン、ドレインチャーター等）の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所に概要を明記してください。
なお、検査結果図は各々の防火設備の記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。又、添付する平面図は、該当する防火設備の存在する階のみでも可能です。

7 定期検査報告書の綴り方綴り方について

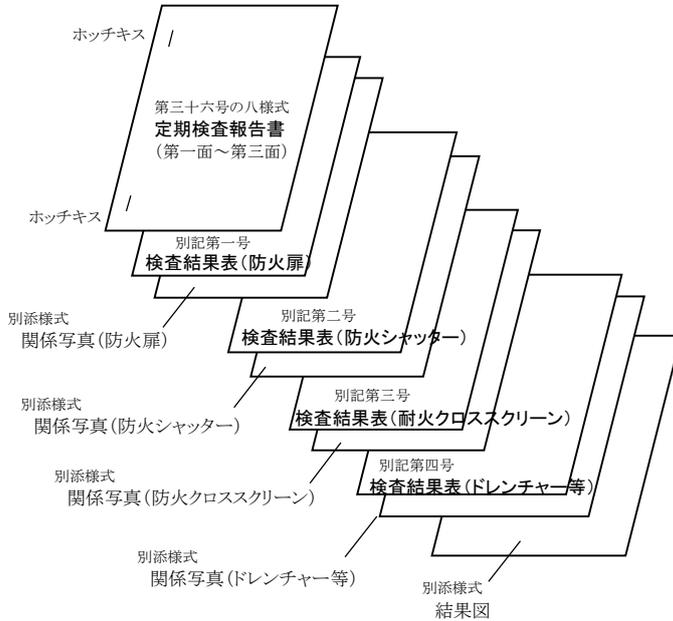
(1) 敷地内に対象となる建築物が1棟の場合

平成30年度より ①～③を全て提出してください。

※④については、支援サービスのご利用者のみ提出してください。



④所有(管理)者用(※支援サービスご利用者のみ)
(副本)



支援サービスの詳細につきましては、
なら建築住宅センターのホームページをご覧ください。

(2)敷地内に対象となる建築物が複数棟ある場合)

平成30年度より ①～③を全て提出してください。

※④については、支援サービスのご利用者のみ提出してください。

①特定行政庁用×1部

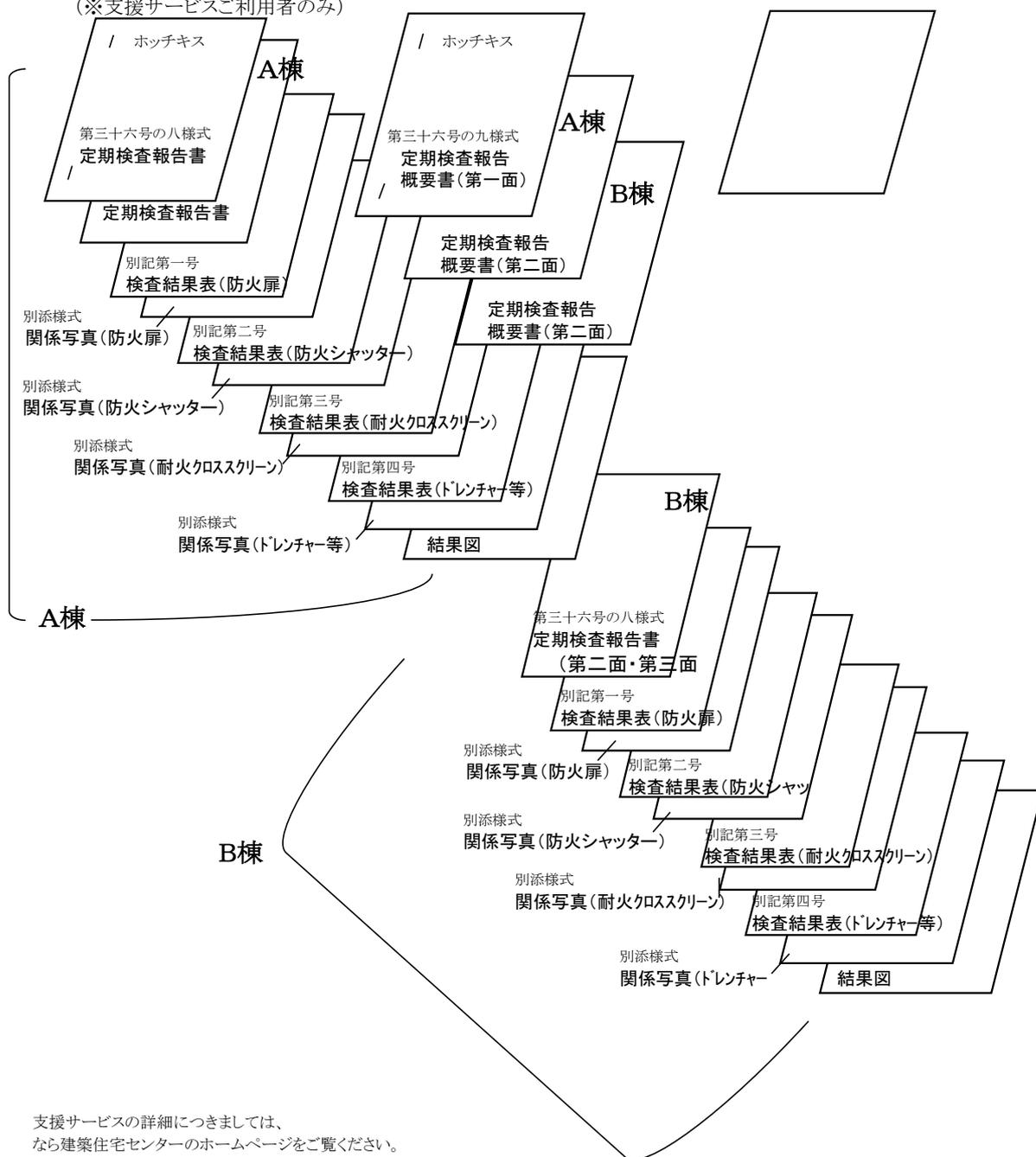
④所有(管理)者用×1部

(※支援サービスご利用者のみ)

②特定行政庁用×1部

(概要書)

③支援サービス利用確認票及び
報告書作成用エクセルファイル使用願い



定期検査報告書の作成について（防火設備編）令和7年7月

平成 30年 3月 定期報告に関する記載方法（防火設備編） 発行
令和 1年 7月 定期報告に関する記載方法（防火設備編）改訂版
令和 2年 4月 定期報告に関する記載方法（防火設備編）改訂版
令和 3年 1月 定期報告に関する記載方法（防火設備編）改訂版
令和 4年 4月 定期検査報告書の作成について（防火設備編）
令和 5年 4月 定期検査報告書の作成について（防火設備編）改訂版
令和 6年 4月 定期検査報告書の作成について（防火設備編）改訂版
令和 7年 7月 定期検査報告書の作成について（防火設備編）改訂版

発行 一般財団法人 なら建築住宅センター
〒630-8131 奈良市大森町 57 番地 3 奈良県農協会館 5 階
電話 0742-27-8633 F A X 0742-20-6066